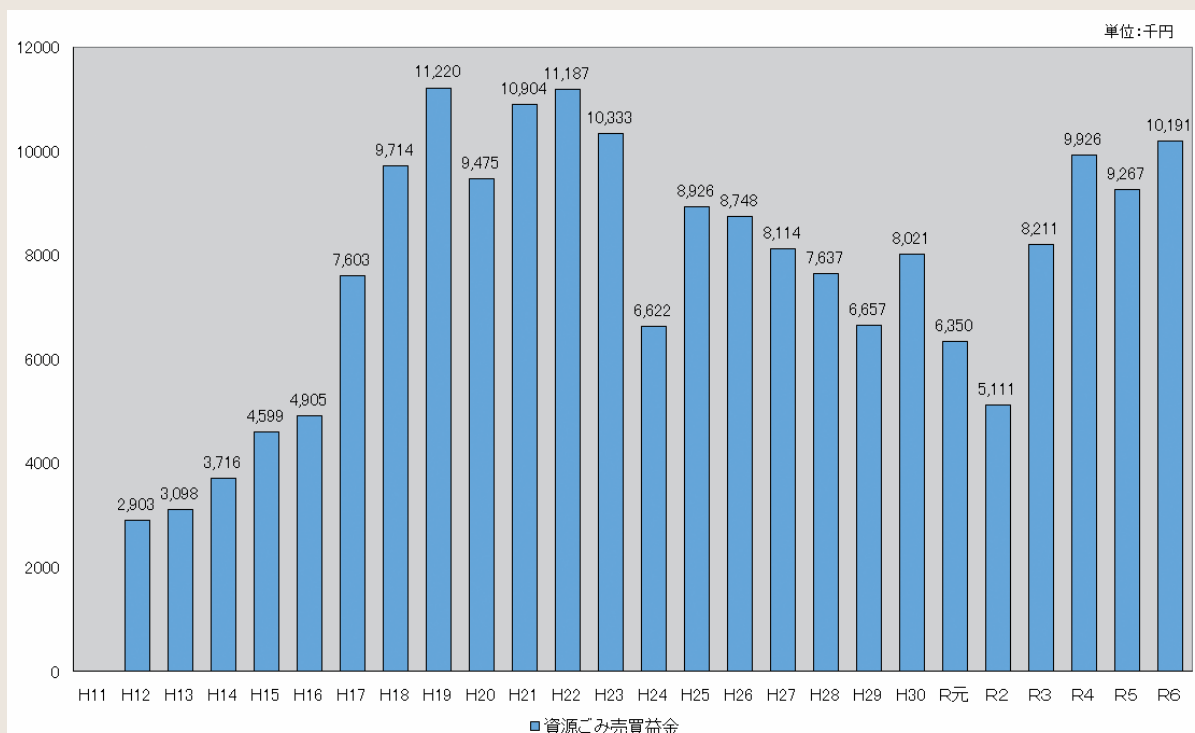


大崎町は平成10年9月から分別を開始して、今年で27年目を迎えます。

当初は缶・びん・ペットボトルの3品目から分別を開始し、現在では28品目にわたる分別を実施しています。このリサイクルの取り組みの継続には、町民の皆様の理解が不可欠です。引き続き、ご協力をお願いいたします。

大崎町の資源ごみの売買益金の状況について紹介します。

●資源ごみ売買益金の推移



町民の皆様から出された資源ごみの一部は、新たな資源として有償で販売されます。その売買の時に生じる資源ごみの売却益金は、町の一般会計の収入となります。これまで、累計で約1億9千万円、令和6年度は、約1,000万円の益金が町の収入となり、「大崎町リサイクル未来創生奨学金」やごみの収集、リサイクルセンターでの処理などに関する経費として活用されました。

町民の皆様が日ごろから、きれいな状態でしっかりと分別されているおかげで、1番良い評価をいただいています。